

平成 29 年 9 月 6 日  
(一社) iTECS 技術協会資格認証委員会

## 平成 29 年度 iTECS 専門技術者（レベルⅡ）

### 新規資格認証試験のご案内

#### 1. 資格認証制度について

iTECS 技術協会では、平成 16 年の発足以来平成 29 年 3 月 31 日までに実施した講習会において、650 名以上の講習修了者に修了証を発行しております。

建設分野における非破壊試験法に対する期待が高まるにつれ、国土交通省が実施する、「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定」に限らず、本来の技術の機能である内部欠陥探査や、構造物の健全性診断の場面でも多く技術が用いられている状況にあります。

iTECS 技術協会、資格認証委員会では測定技術者の専門的知識や技量について、客観的な評価基準を制定し、認証することによって、測定技術者の技術レベルを一定にし、「調査結果の信頼性の向上」という社会的な要請に応えることを目的としております。

(資格認証制度の詳細は「iTECS 技術者資格認証制度のご案内」をご覧ください)

#### 2. 試験の種類

iTECS 専門技術者（レベルⅡ）新規試験（学科・実技）

#### 3. 試験日と受験地

試験日：平成 29 年 10 月 29 日（日）

受験地：茨城県つくば市（つくばエクスプレス研究学園駅または、つくば駅近くの会場（確定し次第ご連絡いたします））

詳細は受験票に記載して郵送いたします。

#### 4. 受験料

受験のお申し込みが受理された後、受験料請求書をお送りしますので、指定期日までに必ずお振込みください。期日までにご入金がない場合は受験できないことがありますのでご了承ください。また、受験料はいかなる場合でも返金いたしません。

会員 12,000 円/人 ， 非会員 30,000 円/人

\*振込手数料につきましては各自でご負担ください。

## 5. 携帯品等

- ・ 学科試験・実技試験には、受験票と筆記用具及び関数電卓を携帯してください。
- ・ 実技試験では、iTECS6-V2 を用意いたしますが、自社の測定装置をお持込みいただいても結構です。この場合は事前の申請が必要になります。
- ・ **解析用のノートパソコンは準備いたします。**
- ・ いずれの試験においても携帯電話の使用は禁止します。

## 6. その他

- ① 提出された受験申込書類の受理のご連絡につきましては、受験費用請求書の発送をもって代えさせていただきます。
- ② 受験希望日につきましてはご希望に添えない場合がありますことをご了承ください
- ③ 受験申込者数が定員（40名）になり次第募集を締め切ります
- ④ 受験費用請求書が申請後10日を過ぎても届かない場合、可否結果通知が通知予定日後1週間を経過しても届かない場合には、事務局へ確認をしてください。
- ⑤ 受験票が届いたら、記載内容を必ずご確認ください。申請したものと違っている場合は事務局へお申し出ください。
- ⑥ 台風、地震等により、試験を中止する場合があります。
- ⑦ 試験結果に対する問い合わせには応じられません。
- ⑧ 証明書類等の再交付は有料となりますので、紛失しないようご注意ください。

## 7. 送付先及び問い合わせ先

〒300-2635

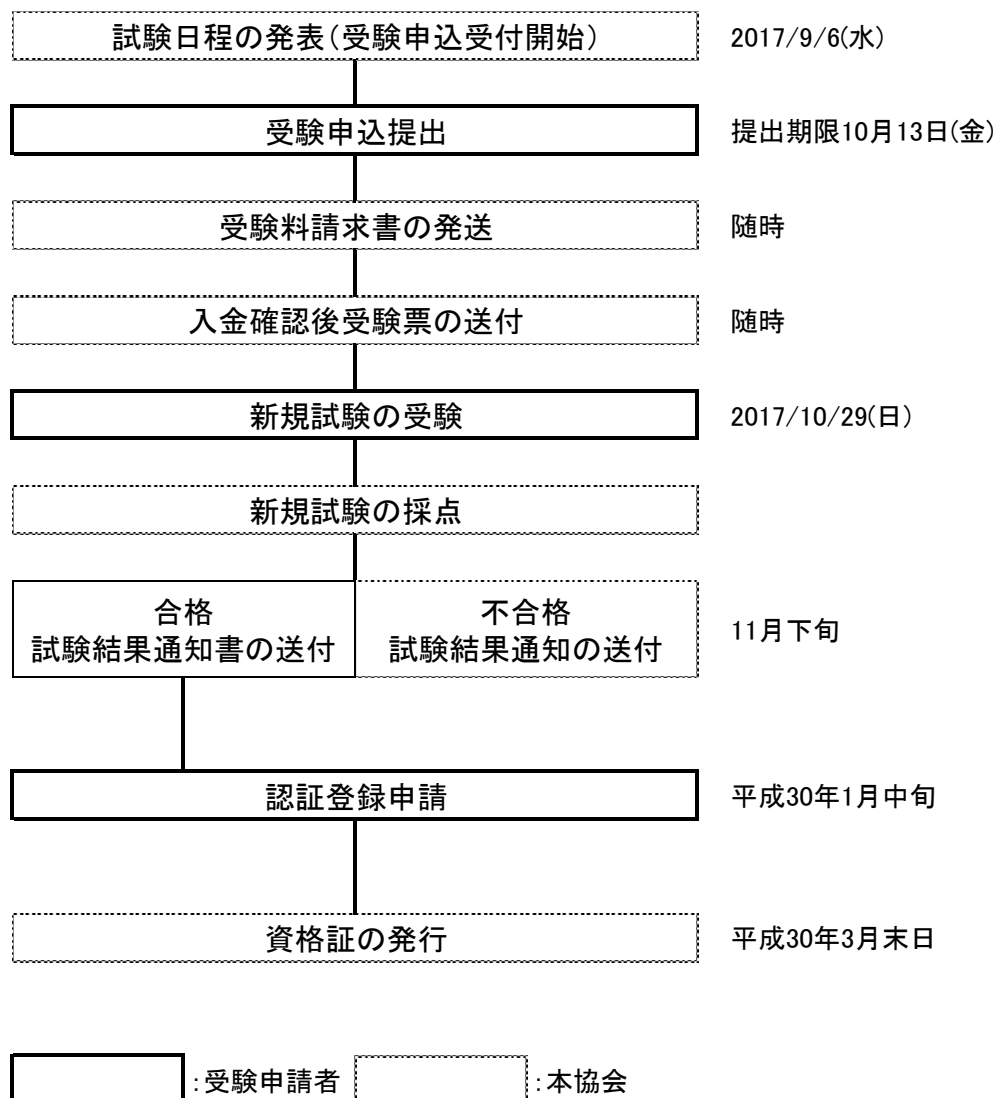
茨城県つくば市東光台1-6-6

(一社) iTECS 技術協会 事務局

[TEL:029-847-1861](tel:029-847-1861) FAX : 029-848-1096

E-mail : [info@itecs.jp](mailto:info@itecs.jp)

8. 平成 29 年度新規試験の流れ



※お申し込みが定員（40名）となり次第、募集を中止いたします。

## 9. 新規試験内容

新規試験は学科試験と実技試験で構成され、同日に受験していただきます。

### (1) 学科試験

学科試験は筆記試験とし、以下の項目について出題します。

試験時間は 120 分とします。

学科試験科目	試験項目	出題数	方式
1	コンクリート構造物に関する基礎知識	5	択一式
2	コンクリート構造物の非破壊検査に関する知識	5	択一式
3	iTECS法規格(試験編)	25	択一式
	iTECS法で使用する装置の定期点検方法	2	択一式
	新設コンクリート構造物の圧縮強度試験方法	6	択一式
	コンクリート部材厚さの試験方法	6	択一式
	コンクリート内部の欠陥探査方法	6	択一式
	コンクリートのひび割れ深さの試験方法	5	択一式
4	iTECS法規格(測定編)	10	択一式
	多重反射法による一時共振周波数の測定方法	5	択一式
	弾性波の伝搬時間差の測定方法および伝搬時間差による弾性波速度の測定方法	5	択一式
5	iTECS技術者倫理及び安全、災害防止に関する知識	5	択一式
合計		50	

### (2) 実技試験

実技試験は、コンクリート試験体を使用して以下の項目について、出題いたします。

各自で測定及び解析を行い回答していただきます。

試験時間は 120 分(測定+解析)とします。

試験項目	ポイント	数量
円柱供試体の弾性波速度測定	点検に必要な、円柱供試体の弾性波速度測定ができるか	2本
ひび割れ深さの測定	直角回折波法によるひび割れ深さ測定ができるか	2本
	行路差法によるひび割れ深さ測定及び計算ができるか	2本
部材厚さの測定	表面弾性波速度の測定ができるか	1測線
	部材厚さ測定を行うことができるか(複数の鋼球で測定)	1箇所
	弾性波速度の解析、および、その値を使用しての厚さ解析ができるか	
内部欠陥探査	内部欠陥の範囲を示すことができるか(ラインモード測定)	1測線

### (3) 合格基準

合格基準は正答率 70%とします。ただし、合格者数が少ない場合には調整を行う場合がございます。